

いまみ 録のたより

みんなが かがやく イマミっ子 ~明るく かしこく たくましく~

<ホームページ> <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami> 令和5年10月31日

オープン・シェア

校長 佐々木 一高

140日間もの記録的な夏日の記憶も薄れ、10月は秋らしく爽やかな天候が続き、10月21日には、多くの学校関係者の方をお招きして『第42回イマミ大運動会』を開催することができました。保護者や地域の皆様の温かい声援が子どもの笑顔を引き出してくださり、いっそう輝きを増した子どもたちの姿が印象的な一日となりました。また、PTA本部や役員の方々が、受付や広報写真などで蔭となり運動会を支えてくださりました。ありがとうございました。

さて、「オープン・シェア革命」の先駆者ダルビッシュ投手が、2年前のWBCを前に、テレビ番組の取材にこう語りました。「技術を共有しないと、他の選手の可能性の芽を摘んでしまうことになり、野球界のためにならない。みんなが幸せになる可能性を自分が摘んでしまうのは嫌だから、いろんなことを共有しています。」実際に、ダルビッシュ投手は変化球の投げ方を自らのSNSで紹介したり、そこから他の選手が学んで取り入れたりしています。競争の激しいプロのスポーツ選手自身が手の内を明かすことは勇気がいることでしょう。一方で、心配とは裏腹に、今までは感覚でやっていたものを人に教えることで、自分の頭脳と技術力を接続させて更に磨きがかかるという意図も理解しました。

今年度の運動会に向けた学習プロセスの中にも、こうした「オープン・シェア」に近い学びを見つけました。5・6年生演技「飛翔」の学習です。6年生が5年生に対して単に動きを伝えるだけでなく、6年生自身が自分の動きを確認しながら手本を示したり、タブレット端末で撮影した動画を5年生と一緒に見ながら動き直してみたりと、深く思考しながら一緒に学んでいました。一見当たり前前にも見える学びの姿ですが、子ども目線で学びを捉えると、納得感や本音が多く生まれた学びであることが分かります。一人ひとりの学びに向かう力は向上し、粘り強く、そして自ら調整しながら学び続けていました。こうした学びのプロセスを積んだ子どもたちは、おそらく運動会当日を迎えることが楽しみであったのではないのでしょうか。疑問をもつ余地のない学びではなく、自分の現在地が分かる学びを提供できる学校でありたいと考えています。

11月は「ひと雨に1度」ともいわれ、雨が降るごとに気温が1度下がっていくような少しずつ冬の気配を感じる時季となります。寒暖差における体の疲労などに十分気を付けながら皆様お過ごしください。

「安全・元気にさいきょう」

⑤いごまであいきらめない ①い思い出 ⑤④うりよく お⑤えん

1年生

小学校初めての運動会。子どもたちはとても楽しみにしていました。徒競走では力いっぱい走り、玉入れは競技も応援も頑張りました。「乗り出せ、アドベンチャーの世界へ」では、列をそろえて踊り、2回の隊形移動も自分の場所を覚えて動き、最後にはきれいな円をつくりました。たくさんの人に見守られ、楽しい一日を過ごすことができました。

2年生

2度目の運動会は、1年生の手本になれるように頑張りました。特に「乗り出せ、アドベンチャーの世界へ」の学習では、1年生の「2年生、腕が伸びていて、上手!かっこいい!」という声を聞き、喜ぶ姿も見られました。当日は、演技も競技も力いっぱい取り組みました。また、友達を一生懸命に応援し、みんなでひとつになった運動会となりました。

3年生

初めての「イマミよさこいソーラン」の学習では、手本の動画を見ながら振り付けを頑張って覚えました。4年生の動きに刺激を受けながら、学習を重ねるうちに体が自然と曲に合わせて動くようになりました。本番では、これまで以上の演技をすることができました。大玉送りでは、4年生のペアと協力して声をかけ合い、大玉を運びました。一人ひとりの笑顔が、輝く運動会でした。

第42回イマミ大運動会

4年生

今年のおさこいソーランでは、「みんなの動きと心をつにしたい」という思いをもち、昨年よりパワーアップした振付に挑戦をしました。昨年度の自分よりも成長しようと、何度も手本を見て踊ったり、友達と見合って振付の確認をしたりして、全体の完成度を高める姿が見られました。3年生の手本になれるように、と学習に励む意欲が立派でした。

5年生

はじめての「飛翔」。限られた時間の中で一生懸命に学習を進めました。縦割りで分かれ、6年生からアドバイスをもらいながら、5・6年全員でタイミングをそろえることを意識しました。

本番での堂々と演じる姿は、高学年らしさを感じました。また、綱引きや徒競走も最後まで諦めない心を大切に、競技することができました。来年はいよいよ最高学年として迎える最後の運動会です。今年6年生から教えてもらったことを自分たちが受け継ぎ、全校の手本となってくれることを期待しています。

6年生

6年生にとって最後の運動会、最後の「飛翔」でした。5年生と一緒に、たてわりグループの少人数で学び合う姿はとても頼もしかったです。学習を始める前には、今までの伝統を引き継いで全校の手本になれるように、日頃の学習や生活態度にも気を付け、本番では良い演技をしたいと思いを高めていました。当日は、力を出し切って演技し、運動会の最後を締めくくることができました。